

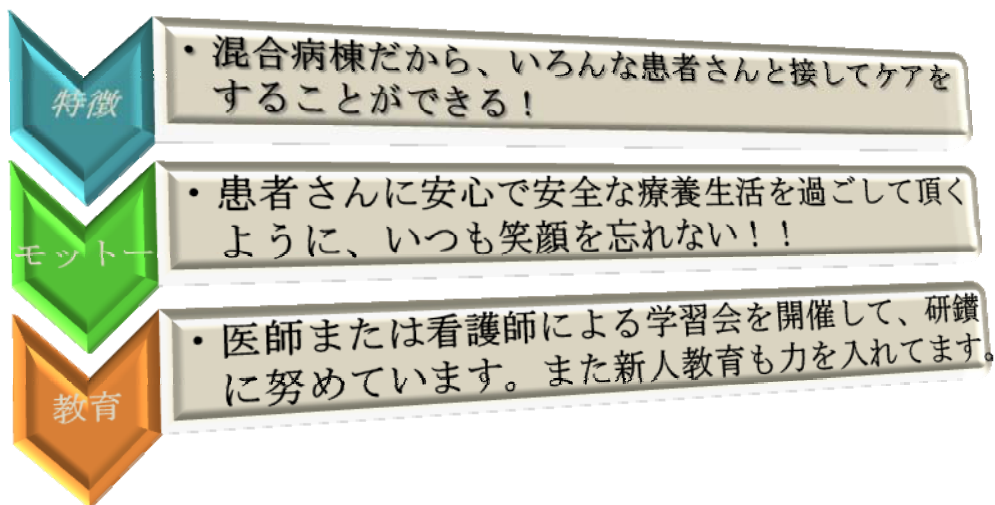
こんにちは。東5階病棟です！

【内分泌内科・血液内科・小児科・眼科】

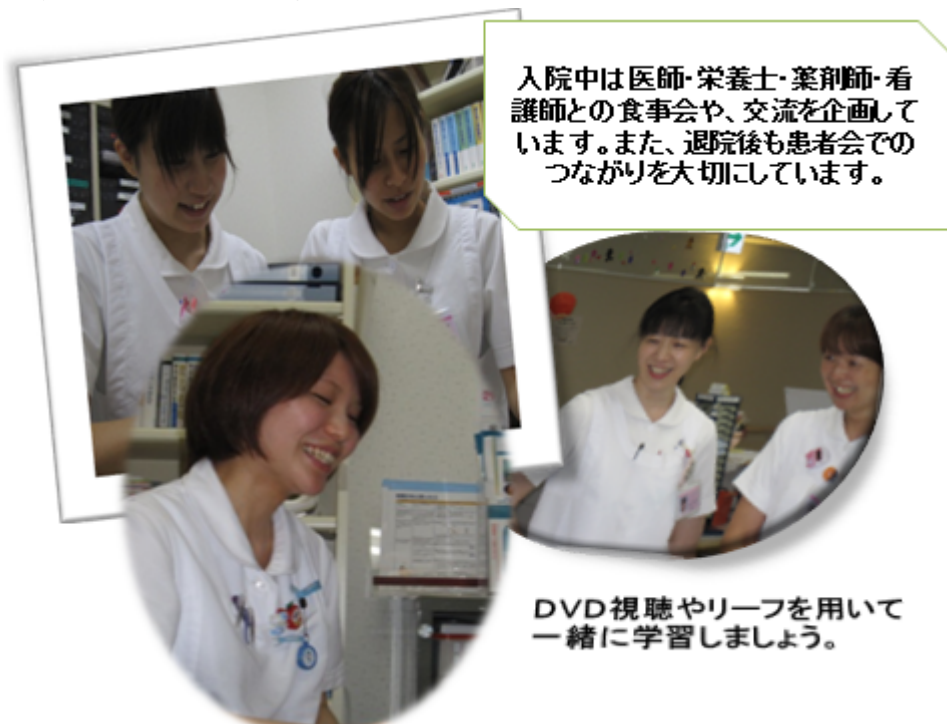


内分泌内科 担当医 3名 血液内科 担当医 2名
小児科 担当医 2名 眼科 担当医 1名
看護師：21名、補助員 4名

笑顔をはがけて、働いています。



内分泌内科では、生活習慣病の代表的疾患である糖尿病を中心に、甲状腺疾患や副腎疾患などの内分泌疾患の患者さんの治療を行っています。なかでも、糖尿病患者さんの教育入院を受け入れて、患者さんの指導をしています。治療の中心はあくまで「患者さん」。そのサポーターとなる多職種によるカンファレンスも定期開催し、その患者さんが問題に抱えていることを患者さん・スタッフと一緒に考えていくことで、退院後もより良い療養生活を送れるように援助を行っています。



入院中は医師・栄養士・薬剤師・看護師との食事会や、交流を企画しています。また、退院後も患者会でのつながりを大切にしています。

DVD視聴やリーフを用いて一緒に学習しましょう。



糖尿病教室

偶数月(2・4・6・8・10・12月)

第1週 金曜日

第3週 月曜日

9時30分～11時30分

※予約制になっています。

フットケア外来

毎月 第2週 水曜日

第4週 木曜日

※予約制になっています。

専門的な資格を持ち、指導を行える

「糖尿病療養指導士」

も病棟にいます。

お気軽にご相談ください。



血液内科では、悪性リンパ腫や多発性骨髄腫などの血液疾患患者さんの治療を行っています。治療の中では「抗がん剤」を用いた治療を病棟でも行っています。毎週、医師・看護師・薬剤師によるカンファレンスを行い、情報共有と治療方針の確認を行っています。また私たちは、疾患や症状に対しての不安を抱きながら入院されてくる患者さんの、心に寄り添ったケアを出来るように心がけています。

眼科では、白内障手術を「片眼で3泊4日、両眼で5泊6日の入院」で行っています。網膜剥離や糖尿病網膜症に対する「網膜硝子体手術」や「緑内障手術」も行っています。「眼」というものは、生きていく中で欠かせないもの。手術後では「自分の手や顔のシミまでよく見えるようになった」「世界が違って明るく見えた」など患者さんの喜ぶ顔が見られます。大切な眼を守り、患者さんと一緒に笑いあえる…。

そんな看護をスタッフ一同心掛けています。



抱えている不安や思いを
しっかり受け止めながら
ケアをさせていただきます

小児科は、多くの疾患の患児を受け入れています。岡田医師を中心としたメンバーで、治療により回復した子供たちの元気溢れる声が病棟を包んでいます。子供たちからもらうパワーで、私たちもより輝いて仕事ができています。

